

日頃からの心がまえと行動

水害から身を守るには、日頃から水害に関心を持ち、万が一に備えて準備しておくことが大切です。

1 天気予報や 気象情報に気をつける

梅雨時や台風シーズンなど、洪水が起こりやすい時期には、テレビ・ラジオ・新聞などの天気予報に注意し、天気の移り変わりに気をつけましょう。



2 非常持出品の 準備をしておきましょう

あわてて準備を始めると、必要なものをすっかり忘れて、必要以上に時間がかかってしまうものです。あらかじめ準備をし、家族で置き場所を確認しておきましょう。



3 大雨や台風に向けて 家のまわりを点検・整備しておく

家のまわりに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸や雨どいなどは痛んでないか確認しておきましょう。また、排水溝がつまってないかなどの確認も必要です。



4 側溝の上は 定期的に掃除しておきましょう

側溝の上にゴミや落葉がつかっていると、水のみこめず、浸水の原因になります。側溝や雨水ます清掃にご協力下さい。



5 ご家族で避難所や 避難経路を確認しておきましょう

このハザードマップには、洪水時に避難する場所が示されています。ご自分の地区の避難所はどこなのか、そこに安全に行くにはどう行けばいいかを前もって確認し、地図に書き込んでおきましょう。



6 一人暮らしのお年寄り などには心配りを

ご自分の家族や住まいだけでなく、地域全体にも目を向けましょう。特に一人暮らしのお年寄りや子供、病人、そしてそれらの人達が利用している施設には、日頃からの心配りが必要です。

